

## 台湾の大学機関におけるロシア語教育の概況

塚本 善也

キーワード：台湾，ロシア語教育，カリキュラム，教材

### 1. はじめに

筆者に与えられた課題は「台湾の大学機関におけるロシア語教育の概況」である。一見して、この課題は茫洋としており、それだけに扱う対象や範囲は際限なく膨張してしまいかねない。そこで、紙幅の制限もあるので、最初に対象と範囲を限定しておきたい。

イ) 対象；台湾国内の大学機関にあって、ロシアを専門に掲げた学科。第二外国語としてロシア語講座のある大学は対象外とする。また大学院も除外する。

ロ) 範囲；各該当学科で行われているロシア語教育科目。

台湾は、戦後、国民党政府下に置かれると、1949年ソ連（当時）との外交関係をすべて断交した。以後、国民党政府は長く親米・反共政策を外交の柱に掲げた。ソ連との直接の通商が解除され、二国間の交流が再開されたのはようやく1990年2月である<sup>1</sup>。現在、官民両レベルでの交流が着実に行われているが、基本的に対米関係重視の政策、社会的風潮（英語教育の最優先・充実）や、歴史的にロシアとの関係が希薄であった事情もあって、いわゆるロシア（学）科を設置した大学機関は、管見のおよぶ限り、わずか三校に過ぎない。創設順に国立政治大学、私立中国文化大学、私立淡江大学である。

本来なら多くの調査項目を設けて、三校それぞれのデータを集積し、現状を分析しなければならないところではあるが、そうした本格的な課題は筆者の未来のそれとし、本稿は主として授業内容の紹介を以って概況としたい。

なお、以下に示す台湾の大学組織の「系」は《Department》、「組」は《Division》の意である。

### I 国立政治大学<sup>スラヴ</sup>斯拉夫語文学系

1957年「東方語文学系ロシア語組」として創設された。1992年「ロシア語文学系」に格上げされ、2007年にはチェコ語文学コースとポーランド語文学コースを増設して、「スラヴ語文学系」へ変更された。

専任教員数は15名（2010年現在）、そのうちロシア人3名、ウクライナ人1名。チェコ人とポーランド人教師が1名ずつ兼任教師として在職しているが、上記15名には含まれていない。全学生数は244名。

1 Михайлова В. Тайвань в современных международных отношениях и российско - тайваньские связи – Проблемы Дальнего Востока. 1999. №1. С.61.

堤正典・小林潔編『ロシア語学とロシア語教育Ⅲ』神奈川大学ユーラシア研究センター，2011年，pp. 73-78.  
Masanori TSUTSUMI and Kiyoshi KOBAYASHI (eds.) *Russian Linguistics and Language Education*. III. Yokohama: The Eurasia Research Centre Kanagawa University, 2011, pp. 73-78.

各学年の必修科目は以下の通り。

学年	科目名称
一年生	初級会話 ロシア語会話（一） 初級基礎ロシア語文法
二年生	中級ロシア語 ロシア語会話（二） 中級基礎ロシア語文法
三年生	ロシア語会話（三） 上級ロシア語文法
四年生	ロシア語会話（四）
三・四年生	上級ロシア語：文学 上級ロシア語：社会 上級ロシア語：貿易経済 上級ロシア語：新聞 上級ロシア語：文化 上級ロシア語：言語学 上級ロシア語：政治外交 上級ロシア語：科学技術

これら以外に「スラヴ国情文化課程」「実用ロシア語課程」「ロシア地域研究課程」「言語文学課程」「チェコ文学課程」「ポーランド文学課程」の六つの選択科目があり、それぞれにまた細かく課程が分かれる。

たとえば、「ロシア地域研究課程」には「ロシア哲学・思想」「ロシア文化史」「ロシア文化特定課題：性，社会」「ロシア文化特定課題：神話，哲学」「ロシア芸術」「ロシア史」「ソ連史」「ロシア現勢」「ロシア地理」「ロシア民族学」「ロシア民族問題研究」がある。

## ロシア II 私立中国文化大学<sup>ロシア</sup>俄國語文学系

1963年「東方語系ロシア語組」として創立され、1994年「ロシア語文学系」に格上げされた。

専任教員数は10名で、そのうちロシア人2名、ウクライナ人1名が姉妹校から招聘されてきている（2010年現在）。全学生数は190名。

各学年の必修科目は以下の通り。

学年	科目名称
一年生	ロシア語会話（一） ロシア語実習（一） ロシア語文法（一） ロシア語（一） ロシア語音声概論
二年生	ロシア語会話（二） ロシア語実習（二） ロシア語文法（二） ロシア語（二）
三年生	ロシア語会話（三） ロシア語実習（三） ロシア語（三） ロシア語構文（一）
四年生	ロシア語（四） ロシア語作文

使用教科書をいくつか紹介したい。「ロシア語文法（一）」で『初級俄語語法新編』（北京商務印書館，1983年）を用いるなど，中国語による教科書が少なくないが，ここではロシア語のものだけを示す。

◎「ロシア語会話（一）」；В.Е.Антонова, М.М.Нахабина, А.А.Толстых. 2001 *Дорога в Россию : учебник русского языка : элементарный уровень*. М.,.

◎「ロシア語会話（三）」；А.В.Викторов, Л.А.Викторова, Н.П.Колоярцева, М.Г.Мирошникова, Л.В.Сретенская. 2000 *Давайте обсудим. Учебные материалы по разговорной практике*. СПб.,.

◎「ロシア語作文」；А.В.Величко, Л.Г.Калинин, Р.А.Кулькова, И.П.Слесарева. 1987 *Пособие по лексике русского языка для иностранных студентов-филологов*. М.,.

### Ⅲ 私立淡江大学俄國語文学系

1993年創立。専任教員数は9名。台湾人教師は4名で，ネイティブ教師の多さを特長とする。学生数は231名（2010年現在）。

各学年の必修科目は以下の通り。

学年	科目名称
一年生	ロシア語文法（一） ロシア語会話（一） ロシア語実習（一） ロシア語（一）
二年生	ロシア語文法（二） ロシア語会話（二） ロシア語実習（二） ロシア語（二）
三年生	ロシア語翻訳 上級ロシア語文法 ロシア語会話（三） ロシア語作文（一） ロシア語（三）
四年生	ロシア語会話（四） ロシア語作文（二） ロシア語（四）

コースは「言語コース」と「非言語コース」（文化、文学）に分けられる。前者はさらに「基礎コース（ロシア語（一）（二）、ロシア語会話（一）（二）、文法等々）」「上級コース（ロシア語（三）（四）、ロシア語会話（三）（四）、作文、新聞ロシア語等々）」「応用コース（翻訳、商用ロシア語）」に区分される。

## 2. まとめにかえて

最初に記したように、台湾の大学機関におけるロシア語教育の現状を把握するには、細かなデータの収集と分析が必要である。本稿は各大学ロシア学科（系）の必修科目名称を列挙したに過ぎず、本来の課題の達成は将来に持ち越しとしておきたい。

筆者は台湾でロシア語教育に携わる者ではないが、最後に「個人的な印象」を記してみたい。上記の三校は多様な選択科目も設けており、それぞれの大学の特色を示している。また学術研討会の開催、学術交流、姉妹校の提携、留学制度、ロシアでの夏期講座、ロシア語検定試験の実施などにも積極的に力を入れている。国家レベルでの交流が再開されてまだ二十年ほどであることを勘案すれば、各大学の熱意と努力は着実な成果となって現われていると言えよう。

しかし、その一方で、台湾のロシア語教育界が抱える問題には容易に解決できないものが多い。時代のニーズに合ったカリキュラムの改変、新たな教科書・教材の作成、教授法

の改善等々の問題点は日本においても指摘できよう。だが、日本以上に英語重視の国柄であったり（淡江大学俄國語文学系は英語教育も積極的に行っているという）、ロシアに対する馴染みの薄さ、教育機関の少なさ、卒業後に活かせる機会が極端に少ないといった国情のために、ロシア科志願者の数は多いとは言えず（大学入試制度の問題とも関連する）、学習者の意欲も容易に上がっていないような印象は否めない。こうした事態に対し、台湾のロシア語教育者がどう対応しているのか。これもまた筆者の将来の調査課題としておきたい。

## 台湾の大学機関におけるロシア語教育の概況

塚本 善也

台湾において、いわゆるロシア（学）科を設置している大学機関は三校、創設順に国立政治大学斯拉夫語文学系、私立中国文化大学俄國語文学系、私立淡江大学である。国立政治大学俄國語文学系である。

この三校は多様な選択科目も設けており、それぞれの大学の特色を示している。また学術研究会の開催、学術交流、姉妹校の提携、留学制度、ロシアでの夏期講座、ロシア語検定試験の実施などにも積極的に力を入れている。しかし、ロシアに対する馴染みの薄さ、教育機関の少なさ、卒業後に活かせる機会が極端に少ないといった台湾の国情のために、ロシア科志願者の数は多いとは言えず、学習者の意欲も容易に上がっていないような印象がある。こうした事態に対し、台湾のロシア語教育者がどう対応しているのか、今後の調査が必要である。